

バロー売上高5000億円突破

3月期ドラッグストア好調

バローホールディングスが9日発表した2017年3月期連結決算は、積極出店を続けるドラッグストア(DS)事業の大幅な伸びに加え、主力のスーパーマーケット(SM)事業も堅調に推移し、売上高に相当する営業収益は初めて5000億円の大台を突破し、過去最高となった。22期連続の増収。一方、営業、経常利益は3期ぶりに減益、純利益も8期ぶりに減益だった。18年3月期は引き続き店舗網の拡大を進め、増収増益を見込む。

SM事業は、SMバ	薬・化粧品も堅調で同
ローの既存店売上高が	売上高は4・6%増、
前期比1・3%減だった	営業収益は12・5%増
ものの、山梨県でS	と2桁増だった。店舗
Mを展開する公正屋の	数では過去最多の66店
子会社化や、子会社タ	を出店し、17年3月期
チヤの伸びが寄与し、	末時で745店となっ
営業収益は2・2%	た。
増。DS事業は、食品	損益面では、ホーム
が好調だったほか、医	センター(HC)事業

の店舗改装費用、DS事業の出店費用の増加が負担となった。SM事業の収益改善の遅れ

と、全社的な人件費など経費増加も響いた。期末配当は前期より2円増配の1株当たり21円で、7期連続で増配。年間配当金は4円増配の40円。

18年3月期は、SMが10店舗、DS35店舗、HC1店舗など計68店の出店を計画し、過去最多を更新。同期末時の店舗数は800店を見込む。

超える見通し。規模拡大に加え、経費の見直しも進め、増収増益を見込む。